青　空

北九州市立洞北中学校　学校通信
校長　　竹中　雅則

令和５年７月６日
第９号

７月７日　星に願いを・・・

７月７日は「七夕（たなばた、しちせき）」です。皆さんも笹の葉に短冊をつるして願い事をする、という経験があると思います。学校の中でもたくさんの願い事がつるされた笹を見ることができます。「天の川」「織姫（こと座の１等星ベガ）と彦星（わし座の１等星アルタイル）」を探して、星空をながめる人も多いのではないでしょうか。

私の「星に願いを」は、**「笹につるされている生徒が書いた願い事がすべて叶うように」**です👍

そもそも「七夕」って何？

七夕は日本に古くからある**「五節句（ごせっく）」のお祭りの１つ**です。元々、「乙女が着物を織って棚にそなえ、神様を迎えて秋の豊作と人々の健康を祈る」という日本の神事だった**「棚機（たなばた）」が由来**です。これに、中国を起源とする「織姫と彦星の話」と「乞功奠（きこうでん）：中国の祭り」が合わさって今の七夕の行事になったそうです。

いろいろな七夕飾りにも意味があります。「短冊」は代表的な飾りですが、他の飾りについて調べてみても面白いですね。

さらに深堀りして五節句の話

「節句」とは「季節の節目となる日」のことで、もとは中国から伝わった多くの種類の年中行事が、日本の文化と混ざり合って少なくなり、江戸時代に特に重要な下の５つを祝日にしたことが現代に伝わる由来です。今は５月５日の「こどもの日」だけが祝日として残っていますが、他の４つの節句も大切に扱われていますね。

１月７日・・・人日（じんじつ）の節句　別名：七草の節句
３月３日・・・上巳（じょうし）の節句　別名：桃の節句
５月５日・・・端午（たんご）の節句　別名：こどもの日
７月７日・・・七夕（しちせき）の節句　別名：七夕（たなばた）
９月９日・・・重陽（ちょうよう）の節句　別名：菊の節句

よく見ると、すべて「奇数が重なる日」になっていますね。これは「奇数＝陽（発展）」「偶数＝陰（不安定）」とする昔の考えの中で、「奇数同士を足して偶数になる日は縁起が悪いから邪気をはらうため」です。

「七五三」も奇数ですね。逆に「２つに割り切れる」偶数は別れを連想させるため祝い事では避けがちです。

図書室の夏イベント「こわい本」

夏休みは読書をしよう！図書室では、夏におすすめの「こわい本」を特集しています。本を読む機会が少ない人も、手に取って読んでみませんか。新しい発見がありますよ。

授業頑張っています👍

セミの声も大きくなり始めました。いよいよ夏です！暑い日が続きますが、学校では生徒も先生も授業を頑張っています。学校通信第３号でも伝えたように、授業は全中学生に平等に与えられた学びの時間！大切にしましょう！